

一般質問

・市内の精神疾患に関する支援体制について  
・民間からの意見聴取について



石川貴広

**問** 当市の精神疾患に関する医療や支援体制について伺う

**答** 精神的な悩みがある方の適切な治療や早期の予防につなげていけるよう、精神保健福祉士による「こころの健康相談日」を開設しています。しろうくりニックの心療内科では精神疾患に対応できる医師が複数在籍しており、初期段階で受診できる医療機関として重要な役割を担っています。

**問** 令和7年度に開設予定の基幹相談支援センターの役割について伺う

**答** 基幹相談支援センターでは、精神障がいや身体障がい、知的障がいに対応し、地域にある既存の障がい者相談所などで対応が困難な問題の相談先となり、解決に導く指導助言を行います。また、地域の相談員のスキルアップなどの後方支援を行い、福祉サービスの向上を目的とします。

**問** 小規模事業所におけるストレスチェックは、任意実施となっている。実施に向けたサ

ポートなどの必要性を伺う

**答** 国の機関などと連携して広報していくとともに、小規模事業所におけるメンタルヘルス対策について、国の動向を注視していきます。

**問** 民間事業者や有識者、市民の意見をどのように聴取し、事業に反映させることが効果的と考えるか伺う

**答** 事業の継続性や実効性を高めるためには、複数の意見聴取方法を用いた上で意見反映プロセスを明確にするとともに、市民の皆様が進捗を把握できるように、議論の内容や意見のフィードバックを広報紙やウェブサイトで公表するなど、透明性のある環境づくりが必要と考えます。

**問** 市が行う事業に関心を持つ人を増やすために、会議録の容易な閲覧が必要と考えるか

**答** 市民のご意見が埋もれないよう、過去の事業を検証する意味でも可能な限り公開していきたいと考えます。

一般質問

・農林水産業におけるGXの推進について



村田明彦

**問** GX推進において、国は農業分野でも環境に配慮した手法の導入や、土壌水資源の保護などの持続可能な農業の実現や、IoTやAIを活用したスマート農業の導入を推進しています。

**答** 市長は施政方針の中で、「GX推進課を新設して脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいく。」と述べているが、農林水産業におけるGX推進の考えを伺う

**答** 国は、「みどりの食料システム戦略」に基づき、調達から生産、加工、流通、消費までの変革を推進しています。本市では、肥料を活用したリサイクル体制構築の取組や、バイオマス発電所等で発生した廃熱エネルギーを施設園芸などの暖房設備の熱源に活用できる可能性もあります。新しい取組を積極的に検討、支援し、農林水産業のCO<sub>2</sub>の削減や、GXの推進につなげていきたいと考えます。

**問** 本市は、令和3年2月にゼロカーボンシティ宣言をし、2050年までにCO<sub>2</sub>排出

量を実質ゼロにすることを目指すと宣言しています。農林分野における御前崎市地球温暖化対策実行計画の取組と現状を伺う

**答** 具体的な取組として、地産地消の推進、海岸林の保全、森林の保護や適正管理を行っています。

**問** GX推進課新設について、市長の考えを伺う

**答** GXの推進は、主にGX推進課で進めていきますが、私もある程度専門的な知識をもっていますので、直接、自分での内容を把握しながら先に進めていきたいと考えています。

GXとは「グリーン・トランスフォーメーション」化石燃料からクリーンエネルギー中心の産業構造に移行させ、カーボンニュートラル・エネルギー安定供給・経済成長の3つを同時に実現させる取組。

IOTとは「インターネット・オブ・シングス」様々な「モノ」をインターネットに接続し、情報交換することで相互に制御する仕組み

有機JASとは

農業・化学肥料など化学物質に頼らず生産された有機食品であることを認める国家規格

カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの排出を全体としてゼロとすること。排出せざるを得なかった分については、同じ量を「吸収」又は「除去」することで、差し引きゼロを目指すこと